

安全・安心で快適なまちづくり

建築物

施設の整備にあたっては、できる限り計画段階から利用者等の意見を聴き、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた誰もが安全かつ快適に利用できる整備を進めます。

さらに、施設管理や施設整備を行う人に対して意識啓発を行い、施設を美しく清潔に保つとともに、建築後も利用者の意見を踏まえた改善に努め、さらに利用しやすい施設を目指します。

道路

高齢者、障がい者等をはじめすべての利用者が安全に安心して移動できる快適な道路空間を目指し、バリアフリー新法に基づき、既存の歩道の広さ・段差・傾斜を改善するなどの取組を推進していきます。

また、歩行者のみならず自転車利用者にとっても安全で快適な道路整備を推進します。

公園

高齢者、障がい者、子ども、妊産婦、外国人等すべての利用者にとって、レクリエーション機能を持ち、災害時における避難地としての役割を果たし、自然景観を楽しめるような潤いとやすらぎのある公園として整備します。

また、既存の公園の中には、地域の実情に合わなくなってきたものや、施設の老朽化などにより利用しにくいものがあります。このため、地域の要望などを取入れながら、ユニバーサルデザインに配慮した施設の改善や緑化の増進などに取組みます。



長良公園
ユニバーサルデザインに配慮した遊具が設置されています
(平成20年度全建賞※2 GIFUバリアフリー賞※3受賞)

公共交通

歩行者や自転車を重視し、公共交通機関を便利で使いやすいものへと改善することにより、誰もが自由に移動できる交通環境の実現を目指します。

そのため、円滑な乗り継ぎ環境の整備や、バスレーンなど走行環境の整備、低床バス導入率100%を目指すなど、公共交通を中心とした交通体系づくりを進めていきます。

※2 全建賞 建築技術の活用ならびに公共事業の進め方等により、特出した成果の得られた事業を選考し、表彰するもの
※3 GIFUバリアフリー賞 岐阜県において、高齢者や障がい者に配慮した建築物や福祉のまちづくりに寄与する団体等を表彰するもの

分かりやすい情報提供とサービスの向上

行政情報

必要な情報を、年齢、身体の状態や言語の違いなどに関係なく入手できるように、複数の手段により、分かりやすく提供するように努めます。

12ポイント以上のできるだけ大きな文字の使用や、専門用語を使う際には注釈をつけること、表や写真の使用などにより、見やすく分かりやすい情報提供に努めます。

市民コンシェルジュ (庁舎総合案内人)



目的の課までの誘導などを行います

行政の窓口対応

高齢者や障がい者、外国人等あらゆる人に対して相手の状況に合わせた親切で分かりやすい説明や対応に心がけます。

また、様々な人の意見を取り入れながら、手続きの簡素化に努めるなど、利用者の立場に立った事務の改善に取り組みます。

一人ひとりを大切にする意識づくり

市職員はもちろん、すべての市民がユニバーサルデザインの考え方を理解し、モラルを高め、お互いを思いやる気持ちや支えあう心を持てるように、ユニバーサルデザインの考え方の普及啓発や、ユニバーサルデザイン推進を担う人材育成を行います。

交流会



外国人と日本人との異文化交流を行います

このため、ユニバーサルデザインの考え方や事例を広報紙やホームページ等で紹介するとともに、講演会や研修会を開催するなど一人ひとりを大切にする意識づくりを推進するための取組を進めます。